

膵外分泌機能不全モデル動物

長期生存可能な膵外分泌機能不全モデルラットの作製に成功！

概要

アルコール性膵臓炎や膵胆道系疾患治療に伴う膵全摘出などにより膵外分泌機能が障害された動物モデルの作製は病態研究や治療方法の開発に必須である。従来は、薬物誘発モデルや自然発症モデルなどは不確実であり、膵全摘モデルが推奨されてきた。しかしながら、マウスやラットなどのげっ歯類では全摘が困難であり、かつ長期生存モデルが実現していない。

発明者らは、膵切除によらない外科的手術によって、長期生存可能な膵外分泌機能不全モデル動物の作製に成功した。

効果・応用例

<効果>

- 膵内分泌機能を保持し、膵外分泌機能のみを障害された慢性膵炎の病態評価や治療方法の開発が可能

<応用例>

- 膵外分泌機能不全に関連する疾患の治療薬開発
- 慢性膵炎や糖尿病の病態評価モデル

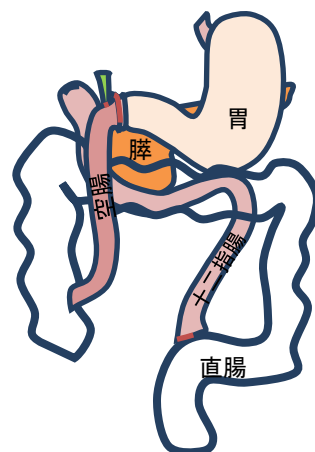
特許データシート

特許番号(整理番号):特許第6213976号(T12-035)

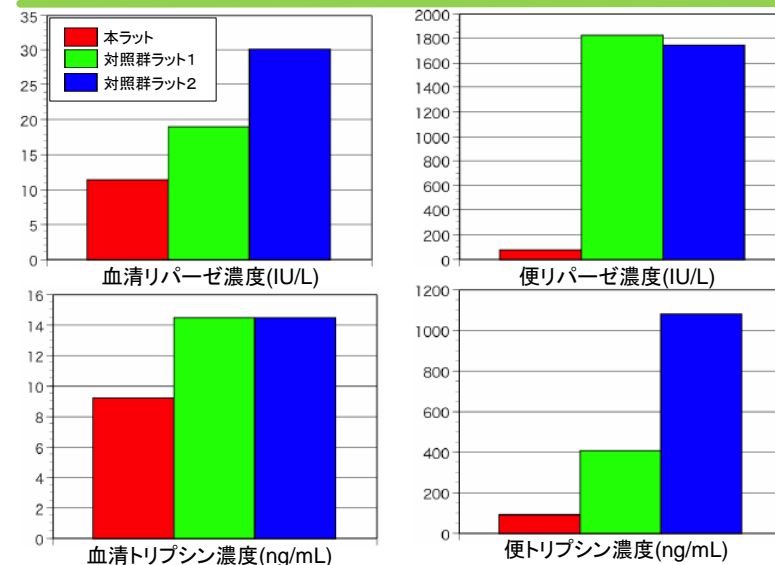
発明者:海野倫明、坂田直昭、石田晶玄、吉松軍平

出願人:東北大学

手術後のラット体内

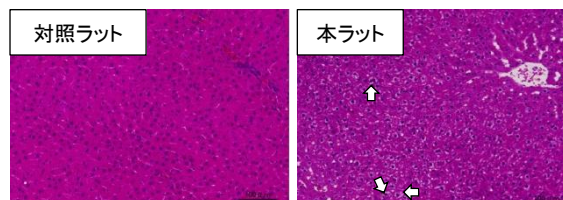


膵外分泌機能の評価結果



★本発明のラットでは、膵外分泌機能マーカー濃度が低下

膵外分泌機能低下に伴う肝組織標本



★本発明のラットでは、膵外分泌機能低下に伴い、肝組織に脂肪沈着を示す特徴的な風船状腫大(⇒)認められた。

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419

お問い合わせは、[こちら](#) からお願い致します。